



新興プラントック

第104期 中間報告書

平成19年4月1日～平成19年9月30日

新興プラントック株式会社

証券コード：6379



代表取締役社長

藤井 清喜

Contents

株主の皆様へ	1
業績ハイライト（連結）	3
中期経営計画のご説明	4
中間連結財務諸表	5
中間財務諸表	7
事業のご紹介	8
会社概要	9
株式の状況	10

株主の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに第104期上半期（平成19年4月1日から平成19年9月30日まで）の事業の概況をご報告申し上げます。

当上半期におけるわが国経済は、原油価格の高騰による影響や米国経済の先行き懸念などの不安定要因はありましたものの、堅調な企業収益を背景とした民間設備投資の増加、個人消費の底堅さ等により、緩やかな拡大基調で推移いたしました。

当社グループを取り巻く事業環境につきましては、主要顧客である石油・石油化学業界各社で安全性の向上や効率化に向けた設備投資が増加したこと等により、投資案件は旺盛でありました。このような状況の中、当社グループは、平成19年度を初年度として策定した第3次中期計画に沿って、エンジニアリング力のあるメンテナンス会社として付加価値の高いメンテナンスサービスの提供、顧客ニーズの多様化・高度化に対応した的確な営業戦略の立案など、受注と収益の確保に努めまし

た。また、これらを推進することを目的として本年7月1日付で事業組織の改革を実施いたしました。その結果、当上半期の受注高および完成工事高は前年同期に比べ増加し、これに伴う稼働率の向上およびプロジェクト管理および収益管理の徹底を強化したことに伴い工事収益も増加いたしました。

連結ベースの業績としては、受注高（エンジニアリング業）は前年同期比16.4%増の502億2千3百万円となり、完成工事高は前年同期比16.0%増の482億6千3百万円となりました。完成工事高の内訳は、エンジニアリング業といたしましては、石油・石油化学関係で406億7千2百万円、一般化学・薬品・食品・電力等の一般工業関係で67億1千2百万円、環境その他で7億4千1百万円となりました。その他の事業（エンジニアリング業以外）では、1億3千6百万円となりました。また、経常利益49億2千万円（前年同期比50.8%増）、中間純利益29億5千5百万円（前年同期比71.0%増）を計上することができました。

当社グループのうち、当社の業績につきましては、受注高は485億3千7百万円（前年同期比17.8%増）、完成工事高は470億9千1百万円（前年同期比17.7%増）、経常利益は46億7千6百万円（前年同期比48.5%増）、中間純利益は28億3千7百万円（前年同期比64.7%増）となりました。

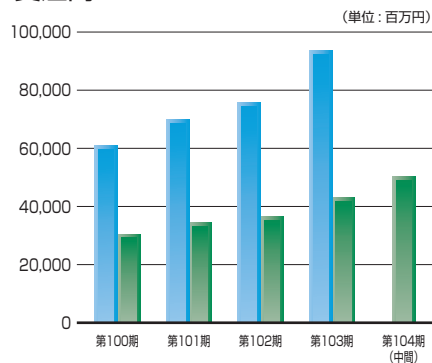
当下半期の見通しといたしましては、原油価格の高騰・高止まりによる影響や米国経済の減速などが懸念されますものの、堅調な企業業績に支えられ緩やかな回復基調が持続するものと予想されます。また、当社グループを取り巻く事業環境につきましても、引き続き堅調に推移するものと思われれます。

このような環境の下、当社グループは、引き続き受注と収益の確保に努めるとともに、第3次中期計画に基づき、経営目標の達成と企業価値の向上のための諸施策を着実に実行し、事業基盤および収益基盤の一層の強化を図っていく所存であります。

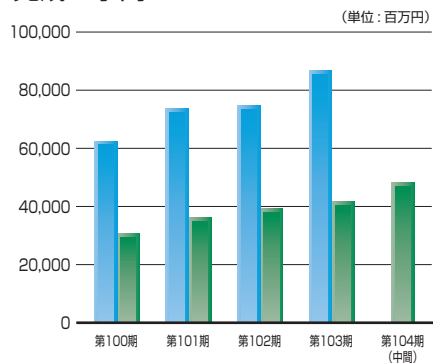
なお、中間配当は見送らせていただきますが、当期の期末配当金につきましては、前期より4円増配し、1株当たり22円を予定しております。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

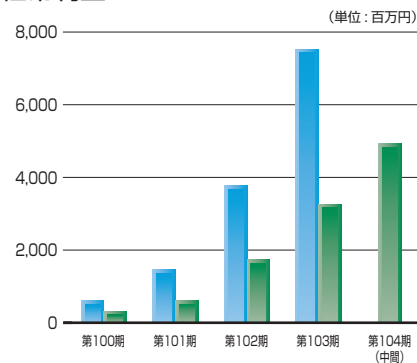
受注高



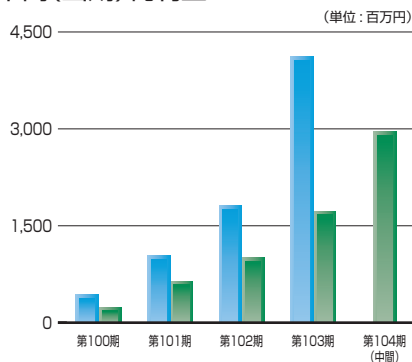
完成工事高



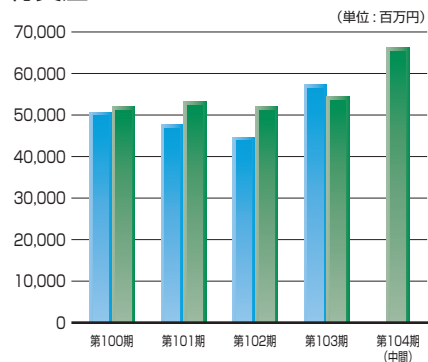
経常利益



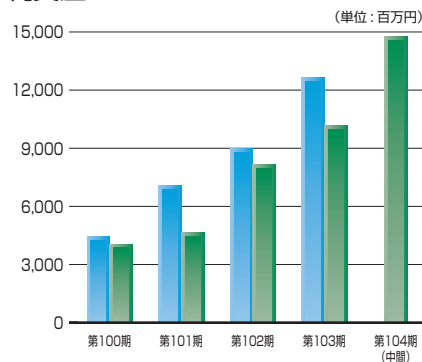
中間(当期)純利益



総資産



純資産



(単位: 百万円)

	第100期 (平成16年3月期)	第101期 (平成17年3月期)	第102期 (平成18年3月期)	第103期 (平成19年3月期)	第104期(中間) (平成20年3月期)
受注高	60,868	69,986	75,672	93,618	50,223
完成工事高	62,518	73,775	74,648	86,826	48,263
経常利益	600	1,458	3,784	7,532	4,920
中間(当期)純利益	433	1,037	1,809	4,116	2,955
総資産	50,716	47,744	44,665	57,314	66,250
純資産	4,459	7,091	8,973	12,632	14,743

第3次中期計画がスタート

Growth to the Next Stage

プラントメンテナンス業界のリーディングカンパニーとして更なる成長を目指します。

「高度な品質のメンテナンスおよびエンジニアリングの提供を通じて永続的に発展し、顧客の生産性の向上に寄与するとともに、社会の繁栄ならびに地球環境の保全に貢献する。」という経営理念のもと、平成19年4月から平成22年3月までの第3次中期計画を策定し、着実に施策を実行に移しております。

経営ビジョンおよび事業戦略



当社グループの事業は、「顧客プラントの安全で安定的な操業を支え、生産性の向上に貢献する付加価値の高い事業である。」という基本認識に立ち、エンジニアリング能力のあるメンテナンス企業という当社グループの特長を活かし、顧客に信頼される強力なパートナーとして、プラントメンテナンス業界のリーディングカンパニーとして成長し続けております。また「確かな品質と安全」を確保し、新たな発想に基づく「現場改革」を推進し「人材の強化・育成」に注力するとともに「内部統制システム」の確実な運用を行い、企業価値の向上と経営目標の達成を図っております。

業績目標および財務目標

連結業績目標

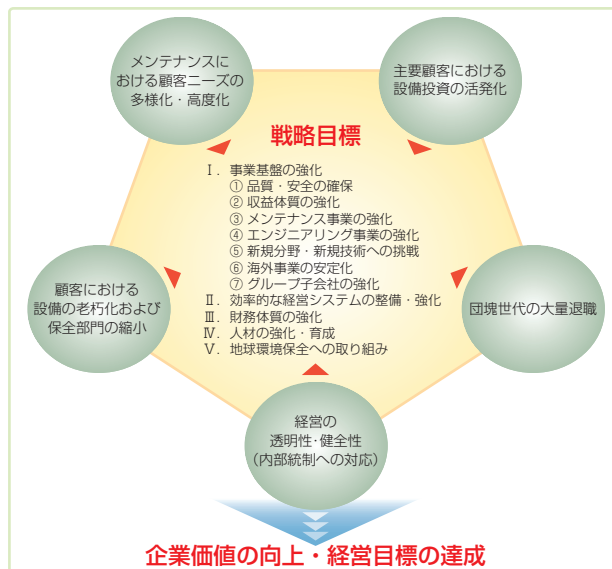
	平成20年3月期	平成21年3月期	平成22年3月期
受注高	880億円	890億円	900億円
完成工事高	880億円	890億円	900億円
経常利益	70.0億円	71.0億円	72.5億円
当期純利益	40.0億円	40.5億円	41.0億円

連結財務目標（平成22年3月期目標）

①有利子負債：ゼロ（単体）

②純資産：200億円

（注）上記目標は平成20年3月期の決算の数値により見直す予定（平成20年5月）です。



中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前中間期(第103期) (平成18年9月30日現在)	当中間期(第104期) (平成19年9月30日現在)
資産の部		
流動資産	40,204	50,638
現金預金	6,820	6,023
受取手形及び完成工事未収入金	20,923	26,224
有価証券	—	1,499
未成工事支出金	11,690	15,931
繰延税金資産	620	779
その他流動資産	167	192
貸倒引当金	△ 17	△ 12
固定資産	14,177	15,612
有形固定資産	11,035	10,655
建物及び構築物	3,583	3,175
土地	6,957	6,923
その他有形固定資産	494	555
無形固定資産	59	98
その他無形固定資産	59	98
投資その他の資産	3,082	4,858
投資有価証券	2,314	3,109
長期前払年金費用	—	246
長期前払費用	2	2
繰延税金資産	530	1,068
その他投資等	308	504
貸倒引当金	△ 73	△ 71
資産合計	54,381	66,250

科 目	前中間期(第103期) (平成18年9月30日現在)	当中間期(第104期) (平成19年9月30日現在)
負債の部		
流動負債	41,227	50,468
支払手形及び工事未払金	32,748	37,507
短期借入金	2,818	2,546
未払法人税等	1,546	2,132
未成工事受入金	2,184	5,430
完成工事補償引当金	113	213
賞与引当金	886	1,123
役員賞与引当金	21	40
その他流動負債	907	1,475
固定負債	2,997	1,038
長期借入金	1,977	665
繰延税金負債	9	8
退職給付引当金	714	37
役員退職慰労金引当金	178	201
その他固定負債	118	125
負債合計	44,224	51,507
純資産の部		
株主資本	9,859	14,354
資本金	2,754	2,754
資本剰余金	1,688	1,688
利益剰余金	5,431	9,943
自己株式	△ 15	△ 31
評価・換算差額等	261	335
その他有価証券評価差額金	284	346
為替換算調整勘定	△ 23	△ 10
少数株主持分	35	52
純資産合計	10,156	14,743
負債純資産合計	54,381	66,250

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前中間期(第103期)	当中間期(第104期)
	(平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで)	(平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで)
完成工事高	41,616	48,263
完成工事原価	36,861	41,757
完成工事総利益	4,754	6,505
販売費及び一般管理費	1,421	1,498
営業利益	3,332	5,006
営業外収益	186	142
営業外費用	255	228
経常利益	3,263	4,920
特別利益	2	21
特別損失	79	410
税金等調整前中間純利益	3,186	4,531
法人税、住民税及び事業税	1,537	2,095
法人税等調整額	△ 94	△ 541
少数株主利益	15	22
中間純利益	1,728	2,955

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前中間期(第103期)	当中間期(第104期)
	(平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで)	(平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,407	1,521
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 378	△ 1,029
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,744	△ 1,294
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	△ 1
現金及び現金同等物の減少額	713	804
現金及び現金同等物期首残高	7,533	8,327
現金及び現金同等物中間期末残高	6,820	7,523

中間連結株主資本等変動計算書 (平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)

(単位：百万円)

項 目	株主資本					評価・換算差額等			少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成19年3月31日残高	2,754	1,688	7,819	△ 21	12,241	380	△ 20	359	31	12,632
中間連結会計期間中の変動額										
剰余金の配当			△ 832		△ 832			—		△ 832
中間純利益			2,955		2,955			—		2,955
自己株式の取得				△ 9	△ 9			—		△ 9
株主資本以外の項目の中間連結 会計期間中の変動額(純額)					—	△ 33	9	△ 24	21	△ 2
中間連結会計期間中の変動額合計	—	—	2,123	△ 9	2,113	△ 33	9	△ 24	21	2,111
平成19年9月30日残高	2,754	1,688	9,943	△ 31	14,354	346	△ 10	335	52	14,743

中間財務諸表

中間貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前中間期(第103期)	当中間期(第104期)
	(平成18年9月30日現在)	(平成19年9月30日現在)
資産の部		
流動資産	39,210	48,634
固定資産	14,218	15,576
有形固定資産	10,573	10,204
無形固定資産	52	92
投資その他の資産	3,592	5,279
資産合計	53,429	64,210
負債の部		
流動負債	40,540	48,879
固定負債	2,864	889
負債合計	43,404	49,768
純資産の部		
株主資本	9,750	14,105
資本金	2,754	2,754
資本剰余金	1,688	1,688
利益剰余金	5,322	9,693
自己株式	△ 15	△ 31
評価・換算差額等	274	336
その他有価証券評価差額金	274	336
純資産合計	10,024	14,441
負債純資産合計	53,429	64,210

中間損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前中間期(第103期)	当中間期(第104期)
	(平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで)	(平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで)
完成工事高	40,024	47,091
完成工事原価	35,592	41,002
完成工事総利益	4,431	6,088
販売費及び一般管理費	1,242	1,362
営業利益	3,189	4,726
営業外収益	210	172
営業外費用	249	222
経常利益	3,149	4,676
特別利益	4	10
特別損失	55	410
税引前中間純利益	3,098	4,276
法人税、住民税及び事業税	1,419	1,962
法人税等調整額	△ 42	△ 522
中間純利益	1,722	2,837

中間株主資本等変動計算書 (平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)

(単位：百万円)

項 目	株主資本										評価・換算差額等		純資産合計	
	資本金	資本剰余金			利益準備金	利益剰余金				自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金		評価・換算 差額等合計
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計		その他利益剰余金			利益剰余金 合計					
平成19年3月31日残高	2,754	1,372	316	1,688	408	238	500	6,541	7,688	△ 21	12,110	370	370	12,480
中間会計期間中の変動額														
剰余金の配当(注)				—				△ 832	△ 832		△ 832		—	△ 832
中間純利益				—				2,837	2,837		2,837		—	2,837
買換資産圧縮積立金の取崩				—		△ 3		3	—		—		—	—
自己株式の取得				—		—		—	—	△ 9	△ 9		—	△ 9
株主資本以外の項目の中間 会計期間中の変動額(純額)				—		—		—	—		—	△ 33	△ 33	△ 33
中間会計期間中の変動額合計	—	—	—	—	—	△ 3	—	2,009	2,005	△ 9	1,995	△ 33	△ 33	1,961
平成19年9月30日残高	2,754	1,372	316	1,688	408	234	500	8,550	9,693	△ 31	14,105	336	336	14,441

当社は石油精製、石油化学、一般化学、薬品、食品などのお客様のプラント（製品製造装置）のメンテナンスから建設工事に至る幅広い業務を提供しております。

■ プラントメンテナンス

当社はプラントメンテナンスのエキスパートとして、長年の経験により培った技術と高度な技能により、専門性の高いメンテナンスサービスを提供し、プラントの安全で安定的な操業に貢献できるよう日々努力を重ねております。また、お客様のプラントメンテナンスに関する多様なニーズにお応えするために「One to One Maintenance」をテーマとして、それぞれのお客様とのコミュニケーションを通じ、プラントメンテナンスに関する課題や問題点に対する改善策や解決策を提案しております。

メンテナンスにおいては、お客様のプラントの安全で安定的な操業を支えることを目的として、次のような工事を行っております。

- プラント稼動に伴い、発生する配管の補修、フィルターの清掃、回転機械の点検などの工事
- 高圧ガス保安法などの法令で定められたものを中心に定期的にプラントを停止させ、点検、補修、改造などを行う工事
- プラントの能力増強や生産性向上のための改造や老朽化による設備更新などを目的に行われる工事



■ プラント建設

お客様は新製品の製造や生産能力の増強などを目的として、プラントを新たに建設される場合があります。当社では中小規模のプラント建設を主体として、各種プラントの企画から基本設計、詳細設計、資機材調達、現地工事、試運転に至る機能的なプロジェクトマネジメントにより、効率的で合理的なプラント建設を実現しております。



■ 概 要 (平成19年9月30日現在)

- 商 号 新興プランテック株式会社
Shinko Plantech Co., Ltd.
- 本社所在地 〒235-0017 横浜市磯子区新磯子町27番地 5
- 設 立 1938年(昭和13年) 7月20日
- 資 本 金 2,754,473,003円
- 上場取引所 東京証券取引所 市場第一部
- 従業員数 連結 1,068名 単体 928名

■ ネットワーク (平成19年9月30日現在)

- 工 場 磯子(横浜市)
- 事業所 室蘭(室蘭市)、仙台(仙台市)、横浜(横浜市)、
根岸(横浜市)、富山(富山市)、鹿島(神栖市)、
千葉(市原市)、川崎(川崎市)、川崎TG(川崎市)、
和歌山(有田市)、大阪(高石市)、水島(倉敷市)、
岩国(岩国市)、徳山(周南市)、新潟(新潟市)、
東海(静岡市)
- 子 会 社 新興総合サービス株式会社(横浜市)
新興動機機械サービス株式会社(横浜市)
エヌ・エス・エンジニアリング株式会社(横浜市)
無錫興高工程技術有限公司(中国)

■ 役 員 (平成19年9月30日現在)

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 取締役 <ul style="list-style-type: none"> 代表取締役社長 執行役員社長 藤 井 清 喜 代表取締役副社長 執行役員副社長 木 村 卓 郎 取締役専務執行役員 長 尾 和 彦 取締役常務執行役員 佐 野 貞 雄 取締役常務執行役員 大 島 寿 之 取締役常務執行役員 山 崎 康 一 取締役常務執行役員 曾 田 治 男 取締役常務執行役員 清 水 邦 雄 取締役常務執行役員 小 宮 良 取締役執行役員 寺 田 義 広 取締役執行役員 吉 川 善 治 | <ul style="list-style-type: none"> ● 監査役 <ul style="list-style-type: none"> 常勤監査役 曾根田 悦 郎 常勤監査役 朝 倉 和 彦 監査役 三 原 秀 次 監査役 渡 辺 裕 史 ● 執行役員 (取締り兼務者を除く) <ul style="list-style-type: none"> 常務執行役員 中 田 正 人 常務執行役員 梁 取 隆 夫 常務執行役員 小 池 康 夫 執行役員 岡 富 洋 執行役員 中 沢 信 雄 執行役員 大 橋 良 司 執行役員 王 子 眞 一 執行役員 佐々木 勉 執行役員 中 野 功 |
|--|---|

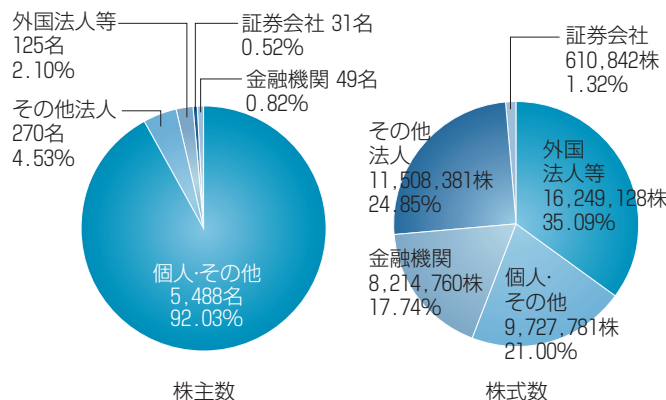
株式の状況 (平成19年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 160,000,000株
- 発行済株式総数 46,310,892株
- 株主数 5,963名 (前期末比 2,551名増)
- 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	出資比率(%)
新日本石油株式会社	5,231,100	11.31
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	3,284,600	7.10
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	2,024,300	4.38
株式会社NIPPOコーポレーション	1,500,000	3.24
ルクセンブルグオフショア ジャスティックレンディングアカウント	1,222,500	2.64
新興プランテック従業員持株会	996,167	2.15
バンクオブニューヨーク ヨーロッパリミテッド131705	932,000	2.02
ゴールドマン・サックス・インターナショナル	870,800	1.88
ザチェースマンハッタンバンクエヌエイ ロンドンエスエルオムニバスアカウント	814,070	1.76
モルガンスタンレーアンドカンパニー インターナショナルビーエルシー	723,256	1.56

(注) 出資比率は、自己株式(75,431株)を控除して計算しております。

●所有株数別株式分布状況



●株主メモ

決 算 期
定 時 株 主 総 会
基 準 日

3月31日

6月中

定時株主総会については3月31日といたします。
その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。

配 当 金 受 領
株 主 確 定 日
株 主 名 簿 管 理 人

3月31日および中間配当を実施するときは9月30日

同 事 務 取 扱 場 所

東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

三菱UFJ信託銀行株式会社

東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

〒137-8081東京都江東区東砂七丁目10番11号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

TEL 0120-232-711 (フリーダイヤル)

(電話問い合わせ)
および郵便物送付先)

同 取 次 所
公 告 の 方 法

三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店

電子公告といたします。但し、電子公告による公告を
することができない場合は、日本経済新聞に掲載する
方法といたします。